

## 行政評価アドバイザー会議を終えて ～行政評価アドバイザーによるコメント～

平成28年9月2日(金)

### 五味アドバイザー

今回は公共施設評価が6件と言うことで、各施設ともにそれを利用し、活用している方がいるなかで評価するということが多かった。

事務事業に関しては、それぞれ事業所管課の説明はもっともだと思うことが多く、私の考えは正しいのが不安になる時もありましたが、事業を継続するにあたり何が大切か、根本を忘れてしまうと本来の目的と離れてしまうのかなと感じました。

### 諸平アドバイザー

昨年に引き続きまして、いち県民の視点からの疑問をそれぞれの事業所管課、または施設に質問させていただきました。いち県民からみると、県の事業という大きな括りであるが、担当部課の違いによって分かれる事業であったり、施設があって、縦割りでなくもっと協働というか、財源や人材の効果的、効率的な配分ができるのではないかと思います。

評価の目的は4つあり、「成果を重視した県民本位の行政の推進」、「限られた財源や人材の効果的効率的な活用」、「県民に対する説明責任の徹底」、「職員の意識改革」について、私自身も意識して行政評価に臨みました。職員の皆様も今一度、県民のひとりとして、財源がだんだん限られるなか同じような気持ちで行政評価に望んでいただくことが必要ではないかと思いました。施設についても、例えば県全体における会議室の必要数はどのくらいか、配置はどうか等、県全体で観るという視点が必要ではないかと思いました。

### 小口アドバイザー

今年は、昨年の反省を踏まえ、事業所管課に事業説明をしていただいたことで、昨年より多少議論が深められたものと思います。事前調査で追加資料を依頼したことで、第2回アドバイザー会議の意見交換の質が高まったものと思いますが、追加資料が多いため十分読み込みが出来なかったところを反省しています。こうした状況で昨年よりは一步踏み込めた感じはありますが、自信をもって評価できたというレベルではないと感じています。

事業所管課の自己評価をみて、見直しの必要性の有無を、事業の継続の有無と捉えているような印象を受けました。どんな事業でも改善点はあるという観点で事業を見直して欲しいと思います。また、事業の成果指標の目標設定については、全般的にあまいので見直しが必要ではないかと思います。

事業改善に向けては、各部署の努力は感じられますが、県庁内の他の部署とのネットワークや、情報交換、人材のやり取り、他の事業との関連を含めて成果を上げていくという観点がもっと必要ではないか

と思われました。

今年は公共施設評価の件数が増えましたが、指定管理費に加え、大規模改修が多額であり今後さらに増える見込があることに驚かされました。

各施設が指定管理者制度を導入していますが、事実上1団体の指定がかかっており、競争の原理が働いていないと思われます。指定管理団体の所在地が指定管理施設内にあることにも違和感を覚えます。指定管理者制度の原点に戻っての見直しが必要と思われます。

公共施設は現地を視察し利用者としての視点で評価ができるため、よりの確な評価ができるように思われます。県全体の事業の中で、莫大なコストがかかることを考えると、当面は事務事業よりも公共施設を優先して行政評価を進めるべきではないかと考えます。但し、公共施設の評価件数が増えるとアドバイザーの負担は大きいので考慮する必要はあると思います。

皆様のご協力で、評価まで終了できたことに感謝します。ありがとうございました。